



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年8月7日 No.762

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

原発は危険が内包

区長が答弁

「自然の力を軽く見たのが反省点」

水素爆発で大きく破壊された福島第一原発4号機。
(3月22日撮影 東京電力ホームページより)



日本列島のどこにも大地震、大津波の危険のない「安全な原発」は存在しない。危険性が明白になった今こそ原発から撤退を―区議選後初めての区議会本会議で、初当選した共産党石田ちひろ議員が区長に原発撤退を国に求めるべきだと迫りました。

石田議員の質問に、濱野区長は「今すべきは考え得るすべての対策を講じて万全を期すこと」とのべながらも「原発のあり方は国の責任で判断すべきであり、区長として意見は控える」と答弁しました。

これに対して石田議員が再質問で「ひとたびどこか近くで原発事故が起きれば品川区も危険でないわけがない」と追及。濱野区長は再答弁で「原発には大きな危険が内包されているからこそ安全対策が必要。今回の事故の根幹は安全対策、自然の力を軽く見積もったところが反省点だ」と答弁。あわせて区内の津波・高潮対策に言及し、危険性を見積もった対策の必要性をのべました。

太陽光を
発電

すべての公共施設と 民間住宅への支援を

原発からの撤退とあわせ、いま急がれているのが自然エネルギー、再生可能エネルギーの推進です。国政・電力事業者任せにしてきたエネルギー政策を今こそ地方自治体、住民の側から推進の流れを大きくする時です。

日本共産党区議団は福島第一原発の事故発生以前から自治体としても省エネルギー・自然エネルギーに取り組むよう提案してきました。今回は、原発事故

を受けてあらためて石田ちひろ議員が本会議で太陽光発電を全ての公共施設への設置と民間住宅の設置にも補助金を出して推進するよう求めました。

学校など区施設改築にあわせ推進

これに対して濱野区長は、品川区はこれまで再生可能エネルギーへの転換と省エネの取り組みを地球温暖化防止対策の一環として推進してきた。太陽光発電システム設置助成や省エネルギー設備導入などに助成してきた。

だが、再生可能エネルギー・自然エネルギーの普及と啓発に努めていくのと同時に、学校など区有施設では今後改築時に合わせ屋上緑化、太陽光発電、風力発電など整備をすすめていくと答えました。

日影になるので、緑のカーテンは困難…!?

石田ちひろ議員が、学校など公共施設でゴーヤや朝顔など緑のカーテンづくりを一気に推進するなど啓発・普及に積極的に取り組むよう求めた質問に対して、濱野区長は「学校では節電の

ため教室の照明を削減しているため照度に影響を与えるグリーンカーテンは当面困難」と答えました。

「日影になるから…」を理由にしたら緑のカーテンなどできません。



緑のカーテンが広がっています。

お困りのときは
お気軽に **ご相談ください**

- 暮らし・区政の相談はいつでも受け付けます。
- 無料 **法律相談** は 8月12日(金) 弁護士が対応します Pm6:30~です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

都営住宅 入居者募集のお知らせ

計2,600戸
品川区内もあり

申し込み—8月10日(水)まで
募集内容—世帯向・単身者向・定期使用住宅・家族向ポイント方式など
申込用紙—区役所、各地域センター、各文化センターにあります。